

# 区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

## 巻 頭 言

### 冷 房

糸田川 隼也

(はやぶさ在宅クリニック 院長)

梅雨が明け、本格的な夏を迎えましたが皆様どうお過ごしでしょうか。

先日いつもより早く出勤しないといけない用事があり、朝6時前ごろに家を出てクリニックへ向かいました。車の窓を全開にしていれば冷房を付けなくても気持ちよく過ごせる程度の気温でした。朝6時過ぎにクリニックへ着き、入口のドアの取っ手を触るとひんやりと冷たく、少し違和感がありました。まさかと思いましたが、ドアを開けて中へ入ると、まさにそれはそれは6月なのに凍えるような寒さで、空調操作盤の液晶を見ると入19度急となっております。本当にショックでした。1晩で電気代がいくらかかったんだろう…と。いや、しかしそれ以上に無駄に環境破壊をしてしまった事への自己嫌悪が大きかったです。

2011年3月11日の関東大震災。あの日以降日本のエネルギー事情は大きく変化しました。これからさらに原子力発電の比率を増やしていこうとする矢先の事故だったでしょう。海外にもこの日本の原発技術を輸出しようと考えていたでしょう。しかし、原子力発電所の事故、それに伴う放射能汚染、人的物的被害、そう簡単に解決できないものをたくさん残しました。3.11の事故以降も原発の稼働は

行われていましたが、2013年9月以降2014年7月現在は日本国内の原子力発電は稼働していません。これまでの原子力発電の分を火力発電で補っているようです。ではこのまま原子力発電は稼働せずにいけるのではないかと思います、そうではなく、やはりエネルギー資源を海外に頼っている日本の現状より、原子力発電を日本の電力から切り離すのは難しいようです。全日本国民が気持ちを一つにして節電をするか、日本の領海からエネルギー資源が発掘されるか、有効な代替電力が発見されるか、等がなければ原子力発電の再稼働は避けられないでしょう。

みんなで節電するのは多分無理でしょう。

日本の領海からエネルギー資源が発掘されたとしても、現在の近隣諸国との関係性を考えるとうかつに活用できないでしょう。

1番有望視できるのは有効な代替電力の開発利用ではないでしょうか。

代替電力といえば風力発電や太陽光発電や水力発電が思い浮かびますが、どれも効率が悪そうで安定した電力供給には結びつかなさそうです。

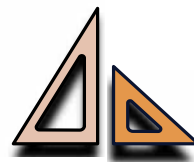


私が期待しているものにオーランチトリウムがあります。オーランチトリウムとは藻の1種で、光合成するわけではなく、有機物を体に取り込み炭化水素として体内に蓄積する微生物です。下水排水中の有機物を沈澱蓄積させ、その有機物プール内でオーランチトリウムを培養し、収穫抽出精製し、燃料が作られます。そこには窒素やリンの廃棄物が残りますが、ここでボトリコッカスという、光合成を行う藻の1種を培養します。こうして余すことなく下水排水を利用します。

このシステムを利用すれば日本が燃料産出国となり、まずは日本国内での原発の撤廃、次に世界中での原発の撤廃が望めるのではないのでしょうか。



## 理事会報告



### ◎平成 26 年度 6 月定例理事会

日 時 平成 26 年 6 月 27 日〈金〉

午後 8 時～9 時 48 分

場 所 浪速区医師会 会議室

### 協議事項

1. 大阪市医師会連合会「正・副委員」および「評議員」の選出について

＜佐久間会長＞

標記委員および評議員を決めたい。

協議の結果、次のとおりに決定。

正委員 佐久間会長

副委員 澤井副会長

評議員 有田副会長、徳田副会長、  
原田理事、中村理事

2. 特定健診の受診勧奨について

＜佐久間会長＞

浪速区保健福祉センターより、浪速区の特定健診受診率が 24 区中最下位であるので、受診率を上げるために会員から患者へ受診勧奨（ポスター掲示等）をお願いしたいとの申し入れがあった。

協議の結果、協力することに決定。

本会からも受診勧奨の依頼文を作成し、会員へ周知することとなった。

3. 多職種連携研修会の開催日程について

＜橋村理事＞

標記研修会の日程を決めたい。

協議の結果、次のとおりに決定。

日時 9 月 27 日〈土〉 午後 2 時～4 時

場所 浪速区役所 7 F

また、ミニ講演の講師は山田理事に決定。

4. 健康展開催時のミニ講演演者について  
＜落合理事＞  
健康展での演者を決めたい。

協議の結果、入野理事に決定。テーマは「がんの早期発見（案）」である。  
また、当日の佐久間会長挨拶は、2部開始時の2時40分ごろとなった。

5. 職員の夏期賞与について＜木田理事＞  
例年どおりに決定。
6. 大阪府医師会学校医部会委員推薦について  
＜中村理事＞  
府医より標記委員の選出依頼があった。

協議の結果、正委員が落合理事、副委員が川田理事に決定。  
任期は、26年6月26日～28年6月に開催される総会までである。

7. 本会移動理事会の開催  
（8月23日〈土〉）について＜中村理事＞  
場所等を決めたい。

協議の結果、大阪マリオット都ホテルに決定。  
また、今回の移動理事会は、新旧懇親会も兼ねて行うこととする。

8. その他  
（1）7～9月度理事会軽食について  
＜中村理事＞  
なしに決定。

#### 報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について  
（6月20日〈金〉）＜佐久間会長＞  
次第は次のとおり。  
▷開会  
▷会長挨拶

▷退任される郡市区等医師会長紹介

▷郡市区等医師会新会長紹介

▷連絡事項

- （1）平成26年度母体保護法指定医師の指定更新手続きの件
- （2）新たな財政支援制度（基金）に関する件
- （3）平成26年度集团的個別指導の件
- （4）生活保護法改正にともなう指定更新制度等の件
- （5）国保共同電算処理システム不具合に起因する給付額調整に関する対応の件
- （6）平成26年版大阪府医師会会員名簿作成の件
- （7）「毎月勤労統計調査」特別調査等に関する協力の件
- （8）糖尿病性腎症患者の重症化予防事業への対応の件
- （9）豊能2次医療圏における糖尿病に対する取り組みの件
- （10）7月度行事・会合日程の件

▷協議

▷閉会

（詳細 略）

2. 大阪市医師会連合会委員会について  
（6月16日〈月〉）＜佐久間会長＞  
次第は次のとおり。

▷連絡事項

- （1）新委員紹介【委員、副委員の異動報告】の件
- （2）生活保護法改正に伴う指定更新制度等の件
- （3）大阪市特別支援教育就学奨励費制度の件
- （4）その他

▷協議事項

- （1）平成27年度大阪市予算の編成に対する要望の件
- （2）その他

（詳細 略）

3. 第302回府医定例代議員会について

(6月26日<木>) <佐久間会長>  
議事は次のとおり。

▷議事

第1号議案

大阪府医師会顧問の委嘱に関する件

(詳細 略)

第2号議案

平成25年度大阪府医師会決算に関する件

第3号議案

平成27年度大阪府医師会会費賦課徴収に関する件

第4号議案

平成27年度大阪府医師会新入会に対する会館設備資金応益負担金の賦課徴収に関する件

▷協議

(1) 当面の医療問題について

以上の議案は、原案どおり可決決定した。

4. 浪速区地域包括支援センター運営協議会について <橋村理事>

各次第は次のとおり。

【5月29日<木>】

▷あいさつ

▷委員、事務局の紹介

▷区地域包括支援センター運営協議会について

▷浪速区地域包括支援センターの概要について

▷議題

(1) 平成25年度浪速区地域包括支援センター運営状況について

(2) 平成25年度浪速区地域包括支援センター自己評価票について

(3) 平成26年度浪速区地域包括支援センター事業計画について

(4) 浪速ランチについて

(5) 日本橋ランチについて

(6) 難波ランチについて

(7) その他

【6月25日<水>】

▷評価のしくみについて

▷議題

(1) 浪速区地域包括支援センター

(2) 日本橋ランチ

(3) 浪速ランチ

(4) 難波ランチ

▷その他

5. 健康展実行委員会について

(6月27日<金>) <落合理事>

次第は次のとおり。

▷出展内容

(1) 展示

(2) 抽選会について

(3) アンケートについて

(4) すこやかパートナーについて

▷会場配置(案)について

▷舞台タイムスケジュール(案)について

▷広報について

▷その他

(詳細 略)

6. 学術講演会について

(5月17日<土>) <富永理事>

演 題 「心原性脳梗塞の予防戦略  
—選択肢の広がった抗凝固薬を  
どう使うか—」

講 師 桜橋渡辺病院

心臓・血管センター

不整脈科 科長 内科部長

井上 耕一 先生

出席者数 16名

共 催 バイエル薬品株式会社

情報提供 リバーロキサバンについて

(詳細 略)

7. 本会定期総会について

(5月29日<木>) <中村理事>

次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷報告

(1) 平成25年度浪速区医師会事業報告

(2) 平成26年度浪速区医師会事業計画

(3) 平成26年度浪速区医師会収支予算

▷議事

第1号議案

平成25年度

浪速区医師会決算に関し承認を求める件

第2号議案

次期浪速区医師会総会議長および副議長の選出に関する件

第3号議案

次期浪速区医師会役員の選任に関する件

第4号議案

次期浪速区医師会会長および副会長の選定に関する件

第5号議案

大阪府医師会代議員および同予備代議員の選出に関する件

▷閉会

会員169名のうち、本人出席が18名、委任状提出者数は130名、計148名で会議は成立。

25年度の事業報告、26年度の事業計画、収支予算のあと、第1号～5議案について審議。

すべて異議なく承認された。

▷各病診連携のための登録医会、運営委員会、勉強会など

▷新たな在宅支援制度

▷今後の疾患連携（糖尿病・脳卒中・心疾患・がん・認知症）

▷トータル医療ネットワークとの連携

▷ブルーカード広報戦略

▷未来医療を考える会（H23,H24）

▷各種学会発表

▷各地区医師会への戦略

▷その他

（詳細 略）

10. その他  
なし。

次回理事会

平成26年7月25日〈金〉 午後8時～

8. 第53回病診連携委員会について

（5月26日〈月〉） <入野理事>

▷第52回病診連携委員会報告について

▷ブルーカード事例検討等報告について  
（育和会記念病院）

▷病診連携委員会のアンケート結果について

▷在宅医療連携等の取り組みについて  
（鶴見区医師会）

▷後方支援病院としての取り組みについて  
（愛染橋病院・大野記念病院）

▷その他

（詳細 略）



9. 医療連携プロジェクトチーム打合せ会について

（6月20日〈金〉） <山田理事>

▷病診連携委員会

▷在宅医療連携拠点事業

## 6月度

# 学術講演会報告

日 時 6月21日〈土〉午後2時  
演 題 糖尿病患者に忍びよる  
骨折リスクとその対応  
講 師 大阪市立大学 大学院医学研究科  
代謝内分泌病態内科学・講師  
今西康雄 先生  
出席者数 18名  
共 催 第一三共株式会社  
情報提供 ロキソニン錠・ロキソニン外用剤について  
担 当 富永良子

骨粗鬆症による骨折は、高齢者のQOLを著しく阻害するため、十分な対策が必要である。特に大腿骨近位部骨折は寝たきりの要因ともなり、家族に介護の負担が重くのしかかる。椎体骨折や大腿骨近位部骨折は、生命予後を悪化させることが知られており、地域医療における重要な対象疾患である。

加齢により、骨では骨粗鬆症が、血管では動脈硬化症が進展する。これらの病変は、従来それぞれ独立した疾患であると考えられてきた。近年、骨量の減少と動脈硬化症の進展との密接な関係が示され、「骨—血管相関」という概念が提唱されている。骨粗鬆症と動脈硬化症とは、いずれも生命予後を左右するため、「骨—血管相関」の病態解明が期待される。

骨粗鬆症は老化や閉経に伴い発症する疾患で、「骨強度の低下を特徴とし、骨折のリスクが増大しやすくなる骨格疾患」と定義されている。骨強度は、骨密度で7割を、骨質で残りの3割が説明できると考えられている。閉経後骨粗鬆症では骨密度の低下により骨強度が低下する。一方、糖尿病をはじめとする生活習慣病においては、骨質の低下により骨強度が低下すると考えられている。糖尿病で

は腎機能障害に伴い25(OH)D濃度が低下する。このためビタミンD不足になりやすい。

以上の背景により、日本骨粗鬆症学会から「生活習慣病骨折リスクに関する診療ガイド」が作成された。本ガイドラインは生活習慣病の合併により骨折リスクが上昇するというエビデンスを元に、幅広い生活習慣病における骨粗鬆症治療の有用性について言及している。さらに「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2011」も作成され、新規薬剤を含む骨粗鬆症治療に関して改訂が行われた。今後、これらのガイドラインを使用することで、より多くの患者において、骨粗鬆症による骨折を予防できることが期待される。

治療薬は、骨代謝調整、骨吸収抑制、骨形成促進に分かれる。ビスフォスフォネート(BSP)は成熟した破骨細胞を抑制する。新たに発売されたデノスマブは、破骨細胞分化因子(receptor activator of nuclear factor kappa B ligand:RANKL)の完全ヒト型モノクローナル抗体製剤である。破骨細胞の前に効き、骨芽細胞を抑制しない。強力な骨吸収抑制剤で、6か月に1回の皮下注射により椎体骨折、非椎体骨折、大腿骨近位部骨折の発生を抑制する効果が明らかになった。皮質骨、海綿骨にも効果を発揮する。

## 8月度学術講演会の お知らせ

8月の浪速区医師会講演会はお休みです。  
次回、多数の先生方の参加をお待ちいたします。

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。



## 浪速区医師会 活動の伝言板

平成 26 年 8 月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 三 歳 児 健 診

#### ●保健福祉センター

8 月 28 日(木)午後 1 時 40 分～ 3 時 30 分

小児科 川田 信哉

眼 科 澤井 貞子

耳鼻科 中村 泰久

### B C G 接 種

#### ●保健福祉センター

8 月 21 日(木) 午後 2 時～ 3 時 30 分

工藤俊次郎・有田 繁広

### 急病診療所出務

#### ●中央急病診療所

8 月 29 日(金) 深夜 22:00 ～ 30:00

金田 高次

#### ●今里休日急病診療所

8 月 3 日(日) 10:00 ～ 17:00

岡藤 龍正・川田 信哉

### 浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。多数のみなさま方の参加をお待ちしております。(ときに時間変更される場合もありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。)

囲 碁 部 毎月第 1・3・5(土)

(川田信) pm 5:00～

大阪府医師協同組合からのお知らせ

ドクターにふさわしいカードとして、  
メリットを最大限に高めました。  
ぜひお申込みください!

### 医師会員におすすめする5つのメリット

#### 年会費がお得!

##### ■一般カード

年会費 **無料** ※家族会員も無料  
◎家族カード4名様まで入会可能!  
限度額 **130万円**

##### ■ゴールドカード

年会費 初年度 **▶ 半額5,000円(税別)**  
次年度 **▶ 通常10,000円(税別)**  
◎家族会員も年会費無料  
◎家族カード4名様まで入会可能!  
限度額 **200万円**

#### 特典付きスイッチカードで便利

世界中のVISAカード加盟店に加え、医師協カード加盟店の独自の特典・メリットが受けられます。

#### 会員向け情報誌「医師協CARDニュース」や「医師協CARD加盟店ガイド」を発行

利用できる加盟店は「医師協CARD加盟店ガイド」でご確認いただけます。また最新情報は、年4回発行の「医師協CARDニュース」でお届けします。



一般カード

ゴールドカード

#### 百貨店や書店で3～5%OFF、 ホテルのレストランで10%OFF

近畿圏はもちろん、全国にも広がる約330の加盟店で割引・還元があります。

#### とくとくポイントでさらにオトク

還元率は一般的なカードの**約4倍!** (組合員のみ)

医師協カード加盟店でのご利用は「とくとくポイント」の対象になります。

組合員は約2.5%、賛助会員は約2.0%の高率ポイントでキャッシュバックされます。

※1ポイントに対する還元金額は年度により変動します。

例えば、「高島屋 大塚店」で  
100,000円(税別)の商品を  
ご購入された場合

※平成24年度還元率



最大還元率  
**7.150%**  
お得!



## あとがき

H.H.

1週間前の台風8号は最近にない大型と言われ、緊張した。昭和32年、私の親が1階を営業所と倉庫、2階をアパートとして木造の家を建て、昭和54年アパートの住民に高額な移転料を支払って私が診療所を開設した。築後50年以上の私の木造診療所は一度も改築していない。風速40m以上の暴風雨に耐えられる可能性は低い。家族は北畠の自宅に待機させ、私一人で診療所に待機した。

診療所を開設して三十数年、間もなく73才になるので、そろそろ幕引きかと考え、昨年から診療時間を短縮し、今年7月から私の診療を3回に減らした。

台風で診療所が吹き飛ばされたら、医業を辞めるつもりでいた。

待機している間、開業から今日までの出来事を回想していた。

開業前から母の友達が、地域の人達に宣伝してくださり、また日本橋中学校の同窓生が、患者集めをしてくれた。54年7月2日、開業日には午前中だけで30人位の患者さんが殺到してくれた。その後も、日に50人、100人、200人と増え続けた。今は当時の患者さんの子や孫の時代になり、細々と診療しているが…

台風の待機中、往診のこと、浪速区医師会のこと、府医の医事紛争委員会の出来事、精神科診療協会の問題点など、想いを巡らせていた。

私自身の体力、健康のことも頭に浮かぶ。昨年、冠動脈にステントを入れ、今年8月には、追加のステントを入れることになっているが、今回は難しく、術中、死の危険性も無いとは言えないと主治医から言われている。

そんな中、知り合いから「胃ガンの手術を受けるらしいな。そんな噂が流れている」と言われた。私の患者もそれを信じている人

がいる。間もなく73才になる私にとっては、どうでもいいことだが。

結局、台風の被害は全くなく、良かったのであろうが、私としては『強制的に今までとは違う生き方』を期待していたのに…と言う感じ。

今までとは違うと思われていた、電力の問題、原発が稼働しなくなっても、我々の生活があまり変わっていないのは何故なんだろう？変わっていないと思うのは私の勉強不足のせいだろうか。

数年前から「たかじんのそこまで言って委員会」などで、明治天皇の玄孫と言う竹田某氏が、しばしばオーランチトリウムを話題にしていた。何故、実用化しないのか疑問に思っているが、既存の電力会社や石油関係者の妨害があるのでは？と勘ぐりたくなる。

台風、私の健康状態や日本の電力の問題とは関係なく、浪速区医師会はあり続ける。

この度、三十数年間勤めていた役員を降ろしていただいたが、日本全国で名が売れた浪速区医師会の更なる隆盛を祈っています。



目次	ページ
巻頭言	
冷房	糸田川隼也 1
理事会報告（6月開催）	2
6月度学術報告	富永 良子 6
8月度学術講演会お休みのお知らせ	6
浪速区医師会活動の伝言板	7
あとがき	8

### 【区医だより】

発行者 佐久間靖博  
編集者 山田郁子 中村泰久  
印刷所 株式会社 サビ